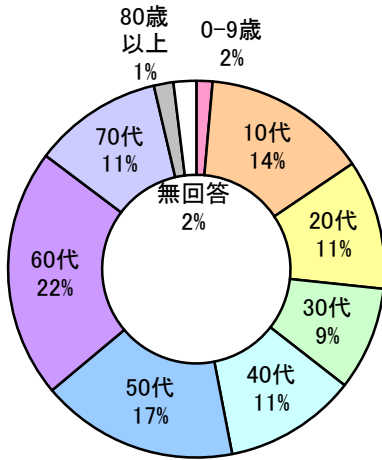


特別展「遣唐使と唐の美術」アンケート集計結果

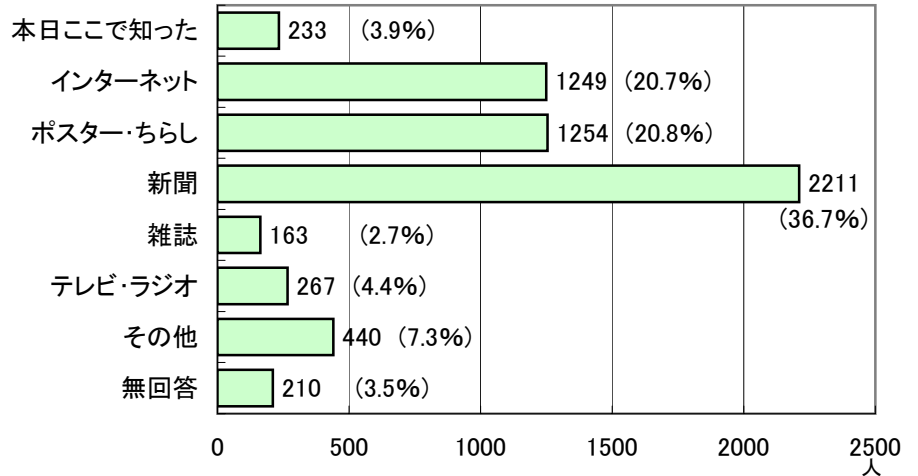
開催期間：平成17年7月20日～9月11日

総回答者数：4,429人（入館者数 99,812人 アンケート回収率 4.4%）

①年齢層



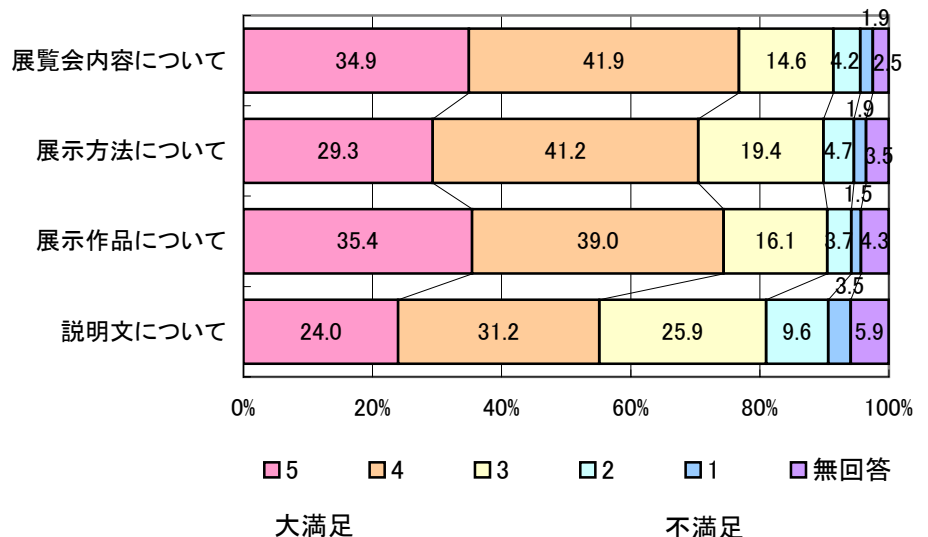
②認知経路(複数回答)



③印象に残った作品

1位 井真成墓誌	562人
2位 龍	140人
3位 吉備大臣入唐絵巻	61人
4位 頭飾	37人
5位 三彩馬	33人

④展示に関する満足度



⑤主な意見・感想

- ・本物に触れ遣唐使の状況や唐の繁栄が良く分かり、井真成の悲哀も伝わってまいりました。(60代・主婦)
- ・もう少し作品数が多いと良かったが、少なすぎて少し不満でした。(60代・主婦)
- ・井真成と後半部の唐の美術の関連が良くわからない。もっと遣唐使にまつわる物が見たかった。(30代・会社員)
- ・音声解説に偏りすぎて文字の説明が少なすぎる。展示物について説明をきちんと書いてほしい。(40代・教員・公務員)
- ・ポスターがすごくかわいかったです。そのポスターを見て興味がわいてきました。(20代・会社員)
- ・もう少し遣唐使が学んだ文化について幅広く展示されていることを期待していました。留学中の生活なども詳しく知りたかった。(20代)

今回のアンケートでは、総回答者数4,429人と多数の方からご意見をいただきました。

「志半ばで命を落とした若き留学生に想いを馳せた」など、アンケートからは総じて井真成への関心の高さをうかがうことができ、井真成の業績を伝える目的が達成できたものと考えています。ポスター記載の「おかえり。」というキャッチコピーには「温かで展覧会にあっている」など多くのご好評をいただいております。本展覧会では、「井真成墓誌」の画期的な発見を核とした展示を行い、全体として回答者の約78%の方から満足との評価をいただくことができました。展示に関しては「こんなに早く本物を見られてうれしい」とのご意見のほか、「もっと作品数があるといい」、「展示品の用途などに対する解説が欲しい」とのご要望も少なからず寄せられました。

貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございました。今後ともご協力よろしく願いいたします。